

今月のコラム



花見

介護科 広瀬圭一



現在世界中で大流行しているコロナウイルス。その影響はすさまじく、多くの国で経済や人々の暮らしに未曾有の危機をあたえています。

世界中の人々が手と手を取り合いみんなで乗り越えてほしいと願っています。

何か明るいニュースは無いか、春と言えば花見について調べてみました。花見の起源は奈良時代の貴族の行事が始まりとされており、奈良時代に中国から伝来したばかりの梅が鑑賞されていたそうです。その後、平安時代になり桜に代わってきました。

時は流れ明治に入ると、桜が植えられていた江戸の庭園や大名屋敷は次々と取り壊され、桜も焚き木とされ、江戸時代に改良された多くの品種も絶滅の危機に瀕しました。

東京・駒込の植木職人・高木孫右衛門はこれを集め、自宅の庭に移植して84の品種を守り、1886年には新川堤の桜並木造成に協力し、1910年には花見の新名所として定着。78種が植栽されて品種の保護がおこなわれ全国に広がったとされています。説明が長くなってしまうましたが、話の落ちとして私は花より団子です(笑)。今後とも宜しくお願いします。

